

## 2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 嶺南学園敦賀気比高等学校附属中学校 ] 担当教諭名 [ 田中 操 ] (1-3年縦割り班 15名)

相手国・地域 [ インド ]

海外学校名 [ The Global Edge School ] 担当教諭名 [ Kalyani Voleti ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	国際交流班	35

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Dear World ～2030 年に理想とする社会に向けて～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	私たちの願いは世界中に平和と公正を、そして、友情を築くこと。アイデンティティは失わず、テクノロジーを駆使して、地球温暖化、医療や環境保護に関する問題を互いに協力しながら解決していきたい。私たちがその主役だ。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな暮らしの中で、当初は地球規模の問題を他人事のようにしか捉えられなかったが、次第に自分達こそが取り組まなければならない問題だと意識し、自発的に行動するようになっていった。</li> <li>・協働学習を通じ、他を思いやり尊重する心が育まれた。また、自分の意見を持つことの大切さを学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムや Skype での交流は、英語の得意な生徒が主として活躍したり、作業のほとんどを2, 3年生が行ったなど、仕事分担が偏らないようにすべき。</li> <li>・相手校の変更で予定も変わり、両校ともフォーラムでのやりとりは教師主導で進めざるを得ない場面が多くあった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度もこのプロジェクトに参加した生徒が半数以上おり、海外への関心が高く、どこの国でも歓迎といった雰囲気であった。また、一度 Skype を通して相手校の生徒と交わることで親近感を持ち始め、相手校はもちろんのこと、相手の国・地域のことをもっと知りたいという欲求に駆られていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外への興味は以前から持っていたが、相手国の話題がニュースなどで報道されると相手校との位置関係を調べたり、記事を読んだりするようになった。</li> <li>・生徒達と共に取り組むことで、SDGs を達成するためには、協働学習と同様に、互いの協力が不可欠であることを再確認した。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	8月	学校・地域紹介のパワーポイントを作成し、フォーラムにアップ。Skypeで自己紹介を行い、互いの学校・地域についての質疑応答を行った。	地域のよさを再認識していた。初回のSkypeでは緊張しすぎて、なかなか一言目が出なかったが、これから始まる協働学習への期待が高まった。	総合5
共有 テーマ学習	10月	自分達が担当するSDGsに関する調べ学習を行い、電子フォーラムやSkypeを使って共有する。それを単なるものでなくてテーマで捉えようとした。	相手校が調べ学習の様子や結果を次々とアップしていくので、少し焦りを感じていたが、自分達のペースでSDGsについて理解を深めることができた。	総合5
融合 メッセージ作成	11月	まずは校内でデザイン案をいくつか出し合い、構図や分担などについて電子フォーラムやSkypeを使って、相手校と話し合いをした。	SDGsが達成される様子を両国の子どもが木に水をやったり、風船で表現する案を提案した結果、相手校がハートの葉が木になるように修正し、デザインが決定。生徒も満足していた。	総合5
創造 壁画制作	12月	決めた構図を元に実際に下絵を描きあげて、相手校の許可をもらい、分担部分に実際に色を塗った。	下絵の最終確認をしたいときに本校のインターネットが繋がらないというトラブルに見舞われたりしたが、期末考査後から1週間程の短期間で協力しながら集中して仕上げた。	総合10
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	成果発表会を行うための資料を作り、発表会を行い、自分たちの活動の振り返りと今後の課題などについて発表した。	難しいながらも英語を使って、相手校と協力して1つの物を作り上げるためやりがいをととも感じ、完成壁画を前に何とも言えない達成感を味わった。	総合10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とともついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自分達の住む地域のよい点やお勧めの場所などを1つでも多く知ってもらいたいと一生懸命調べ学習に取り組んでいた。
異文化を理解する力	4	日本とは全く異なる文化のインドが抱える男女差別の問題などにはとても興味を示していた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	パワーポイントを駆使して自分達の学校や地域の紹介を行ったり、成果発表会で活動を振り返ったりと充実した活動を行った。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	相手の英語が速く、訛りがあり、双方向の対話となると教員が通訳になる場面が多々あり、英語力向上の必要性を痛感した。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	インターネットを調べ学習に利用したが、何でもそのまま受け入れてしまう傾向があり、情報をきちんと取捨選択できていないことがあった。
主体的に考え行動する力	4	協働学習がステップを踏み、次第に壁画作成への具体的な段階になるにつれ、より積極的に取り組むようになっていった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	構図を考える際、相手校の意見を尊重しつつも、自分達が描きたいと思う点は積極的に提案していた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	2030年に理想とする社会がお互いの協力で造り上げられる過程を各国の少女が水をやり、大きな木に育ち、葉の中にSDGsを描いた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	自分自身を客観的に評価することはなかなか難しいが、保護者や他生徒に向けて立派な成果報告を行うことができた。